

予備審査用資料の作成要領

(○ : 添付 × : 添付不要 △ : 外国で実施された試験の場合に添付 [国内で実施された試験では不要])

資 料		スクリーニング毒性試験を実施した物質(タイプ)		高分子フロースキームに基づいた試験を実施した物質(タイプ)		分解度試験結果が良好な分解性であった物質	
番号	種 類	A	B	A	B	A	B
1	新規化学物質カードの写し(コピー)	○	○	○	○	○	○
2	分解度試験報告書要約	○	○	×	×	○	○
3	分解度試験報告書(外国で実施された試験の場合には翻訳は不要)	○	×	×	×	○	×
4	濃縮度試験報告書要約、分配係数試験報告書要約又は類似物質との比較表	○	○	×	×	×	×
5	濃縮度試験報告書又は分配係数試験報告書(類推の場合は不要)(外国で実施された試験の場合には翻訳は不要)	○	×	×	×	×	×
6	復帰突然変異試験 届出様式	○	○	×	×	×	×
7	復帰突然変異試験 試験報告書(翻訳は不要)	△	×	×	×	×	×
8	染色体異常試験 届出様式	○	○	×	×	×	×
9	染色体異常試験 試験報告書(翻訳は不要)	△	×	×	×	×	×
10	28日間反復投与毒性試験 届出様式	○	○	×	×	×	×
11	28日間反復投与毒性試験 試験報告書(群別平均表及び個別別表含む)	○	×	×	×	×	×
12	28日間反復投与毒性試験 試験報告書(本文の翻訳)	△	×	×	×	×	×
13	28日間反復投与毒性試験 NOEL推定根拠	×	○	×	×	×	×
14	28日間反復投与毒性試験 群別平均表(有意差項目)	×	○	×	×	×	×
15	高分子フロースキーム試験結果要約	×	×	○	○	×	×
16	高分子フロースキームに基づく試験報告書	×	×	○	×	×	×
17	生態毒性試験報告書(環境省分のみ)	○	×	○	×	×	×

- 注) 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A4に揃えて下さい。
 2. 資料の各種類毎にページを付して下さい(Aタイプ資料には全体にわたる通しページの必要はありませんが、Bタイプ資料には通しページを付してください)。
 3. 資料の各種類の始めに見出しを付けて下さい(別紙1参照)。
 4. 表紙は白色又は明るい色の用紙を使用し、中央に届出予定物質名を記載して下さい。また、右上には「処理番号○○○」のように記載した上で、「スクリーニング毒性試験及び高分子フロースキームを実施した物質」の資料については、「処理番号○○○-(A)」のように、資料のタイプ別の記載も行って下さい。
 5. 各資料を上記の番号順に揃え、資料全体の左端を紐で綴じて下さい(別紙1参照)。
 6. 新規化学物質カードの1枚目右端の備考欄の下方に、処理番号を記載して下さい。
 7. 番号12については、翻訳者及び最終的に内容を吟味した専門技術者の氏名、身分、資格も記載して下さい。
 8. 番号17については、試験成績がある場合に添付して下さい。